

科目ナンバー	年度・学期	時間割所属・時間割コード	開講年次	単位数	曜日・時限
RMM5-010-79-2	2023前期	医学教育部(10130)	1, 2	1	他
科目名(講義題目)			担当教員		
医療情報学(B6 医療提供の際の情報の取り扱い方、管理の方法について、医療情報、クリティカルパス、地域医療、臨床研究の実践、EBMの観点から学ぶ。)			中村 太志, 宇宿 功市郎, 西川 武志, 石井 正将		
学修成果とその割合					
1.高度な専門的知識・技能及び研究力……25% 2.学際的領域を理解できる深奥な教養力……25% 3.グローバルな視野と行動力……25% 4.地域社会を牽引するリーダー力……25%					
授業の形態	講義・演習				
授業の方法	質疑応答を含む講義形式で、PowerPoint、オンライン等を活用する。				
授業の目的	医学の進歩を実際の医療現場に応用することが医療であるが、医療現場において発生する情報を適切に取り扱って初めてその目的が達成される。この医療情報学では、医療における情報を正しく利用することが出来るようになるために、医療現場での情報の種類、個人情報保護を含めた情報の取り扱い方、有用な情報を得るための方法論を身に付けることを目標とする。				
学修目標	【A水準】 医療現場から発生する情報の種類、情報の有用性、取扱い方法、管理方法について、講義の中の課題から学び、実践することができる。 【C水準】 医療現場から発生する情報の種類、情報の有用性、取扱い方法、管理方法について、講義の中の課題から学ぶことができる。				
授業の概要	医療情報学では、個人情報保護の視点も踏まえた診療録の取り扱い方、情報を電子化して利用する際の医療従事者として身に付けておくべき情報リテラシー・情報倫理、電子的に交換することも含めた医療情報交換の際の問題点、診療記録にInformation and Communication Technology(ICT)を使用する際に留意すべき観点および電子カルテの利点と問題点について講義する。更に電子化されたクリティカルパス(クリニカルパス)、地域医療連携についても学修する。 国際医療協力学では、臨床研究における研究デザイン・研究計画書作成の手順・研究方法・倫理的勘案事項・データの解析法、統計解析並びにその方法、EBMの実践手順・コンピューターを用いての英語論文の批判的吟味法について講義する。				
各回の授業内容					
回	月日	授業テーマ	内容概略		
1		宇宿 功市郎 (e-ラーニングのみで開講。Moodleを確認してください。)	電子化された情報の取り扱いと電子カルテ		
2		西川 武志 (e-ラーニングのみで開講。Moodleを確認してください。)	研究の仮説とデザイン		
3	05/25	3時限 石井 正将	臨床研究における臨床データの取扱いと統計解析①		
4	05/26	3時限 中村 太志	クリティカルパスについて		
5		宇宿 功市郎 (e-ラーニングのみで開講。Moodleを確認してください。)	個人情報保護の観点からみた診療記録の取り扱い		
6		西川 武志 (e-ラーニングのみで開講。Moodleを確認してください。)	糖尿病合併症研究から考える研究の仮説とデザイン		
7	06/01	3時限 石井 正将	臨床研究における臨床データの取扱いと統計解析②		
8	06/02	3時限 中村 太志	地域医療連携について		
授業外学修時間の目安	本科目は、45時間の学修が必要な内容で構成されている。授業は16時間分となるため、29時間分相当の事前・事後学修(課題等含む)が、授業の理解を深めるために必要となる。				
テキスト	特に指定はしない。講義のポイントをまとめたプリントを配布もしくはmoodleにて提供する。				
参考文献	講義の中で適宜紹介する。				
履修条件	特に設けない。				
評価方法・基準	講義中の質疑応答や、講義終了後に提示されるテーマに関するレポート等により、【授業の目的】に掲げた事項についての理解度を確認して評価する。8回の講義におけるレポート等で評価し、評価点数の平均を成績とする。				
使用言語	「日本語と英語によるミックス」授業(日本語、英語)				
教科書・資料の言語	「日本語と英語を併用した」テキスト(特に指定しない)				
実務経験を活かした授業	該当(臨床研究の問題点把握と研究立案、統計解析、研究倫理に精通、実践している教員、病院情報システム導入・運用・管理ならびにパス、地域医療連携に精通した教員が担当分野の講義を行う。)				